

運動施設利用者説明会	資料
令和8年2月5日	
健康福祉部健康推進課	

青山保健センターの今後について

【公共施設最適化計画】

当施設は、公共施設最適化計画において、青山複合施設アオーネに当施設の一部機能を集約した後、それ以外の機能については廃止し、建物を民間へ貸付または譲渡となっており、第Ⅱ期実行計画では、令和6年3月末で廃止する予定であった。

【これまでの経緯】

- ・令和6年2月定例会議において、請願第22号「青山保健センター運動施設の資産を行政財産として保有してプールを含む運動施設の継続について」が採択
- ・安全安心な運営が困難となった歩行用温水プールは令和6年3月末で休止、トレーニングジムや運動教室などは令和6年度限定の運営延長
- ・当施設の民間利活用に向けた可能性の検討
⇒ 令和6年10月から12月にかけてサウンディング調査の実施
- ・当施設の今後の方向性についての慎重な検討
⇒ さらに、令和7年度も運営を延長
- ・令和7年8月25日から2か月間にわたり、公募型プロポーザルを実施したが応募者なし

1. 庁内における検討結果について

青山保健センターを令和8年3月31日で全館休止とする。

2. 上記、検討結果に至った理由について

(1) 民間による普及拡大

- ・民間大手企業による市場参入
トレーニングジムや健康教室など、大手資本による全国展開が加速

- ・利便性の高い場所への出店
スーパーマーケット内やコンビニエンスストア跡地など、生活圏内の身近な場所への普及拡大
- ・プログラムの多様化
パーソナルジム、ヨガ、エアロビクスなど、個人のニーズに応じた健康増進プログラムの充実

民間健康増進施設の普及・定着に伴い、当施設がこれまで提供してきた機能は市場で十分に補完される状態と考えられ、当施設が担ってきた役割は一定の成果を収め、その使命を果たしたものと考えられる。

(2) 施設の老朽化

〔主に修繕が必要な箇所として〕

- ・屋上防水
- ・天井張り替え
- ・トイレ、プールなどのタイルの浮き
- ・配管漏水
- ・耐用年数を経過した機械設備（電気、給湯、空調等）
- ・プール設備（ボイラー、ろ過装置等）

建物、設備などに係る修繕費用は公共施設最適化計画において、およそ2.7億円という試算結果が出ている。

※部品の供給終了等に伴い、修理が困難な設備も出ている。

3. 今後のスケジュール

令和8年2月 5日（木） 利用者説明会（青山保健センター）

令和8年3月31日（火） 全館休止